

岡山県の養鶏場で 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認 (今シーズン国内8例目)

【発生概要(岡山県内1例目)】

所在地 : 岡山県津山市

飼養状況 : 約43万羽(採卵鶏)

経緯 : 12月19日、通報を受けて農場立入、簡易検査陽性

12月20日、遺伝子検査の結果、HPAI疑似患畜と確認

ウイルスは、確実に
広がっています。

鶏舎周辺にはウイルスが潜んでいることを前提にした対策を！

○適切な車両消毒、手指消毒

すべての出入口はスノコなどを準備

○鶏舎ごとの専用長靴の使用

スノコなどで、専用長靴と外靴の動線とは、交差させない

(スノコなど準備できていない出入口は、極力使用しない)

鶏舎内に、スノコ、専用長靴、消毒槽

○鶏舎への塵埃(じんあい)侵入防止

鶏舎周辺の石灰消毒<降雨のあと地面が乾いたら、再度散布>

鶏舎開口部のフィルター・不織布や細霧装置の設置<入気対策>

習慣にしましょう

○鶏卵、鶏ふんの搬出口に覆い(シャツ、金網、裨など)<隙間対策>

(排水溝も金網などで覆う)

搬出口に覆い

○野鳥や動物の侵入防止

壁、金網、ネットの破損修繕、鶏舎周辺の除草、

害虫やねずみの駆除(特に糞尿検出農家は対策を徹底)など

壁、金網、ネットの破損修繕

○カラス・野鳥の誘引防止

ため池の忌避テープ張り、水抜き など

●野鳥におけるHPAI陽性確認状況 1道9県58例(環境試料含む)

(北海道、山形県、福島県、新潟県、群馬県、高知県、福岡県、大分県、宮崎県、鹿児島県)

<写真:農水省>

早期発見・早期通報の徹底をお願いします

通報先は、岐阜県中央家畜保健衛生所

電話:058-201-0530 時間外・夜間・休日:090-7024-5269

